



淀川愛好会 YODORIC NEWS

No.74 2016 年 6 月 発行

〈会員の窓 35〉

淀川周辺におけるアユの近況ほか

澤井 健二

今年もアユの遡上期がやってきました。京の川の恵みを活かす会代表の京都大学防災研究所竹門先生によれば、今年は淀川におけるアユの遡上が順調とのこと。5月7日(土)には、同会の主催による毛馬水門および淀川大堰でのアユ遡上見学会があり、私も参加してきました。当日は大潮で、満潮時の午前6時過ぎ頃から、毛馬水門を遡上するアユが確認できたそうです。午前11時頃にみんなで淀川大堰の魚道を見学した時にはアユの魚影は全く見られなかったのですが、11時半頃には次々と遡上するアユの姿を目撃して、全員小躍りして歓声を上げました。5月30日(月)にもう一度と思って、山根先生をお誘いして同じ場所へ行ってみましたが、この日はあいにくアユ君に出会うことはできませんでした。

京都の鴨川においては、活かす会によって6年前から落差工に仮設魚道を設けてアユを遡上させる試みが続けられています。昨年には最下流の竜門堰が撤去され、アユがかなり遡上しやすくなりました。今年は、国土交通省によって桂川の3号井堰の階段魚道にも改良が図られましたが、増水によって損傷し、今のところ効果が発揮されていないようです。そこで最近、新たな方法として、漁協の方々等によってサイホン式パイプ魚道の設置が試みられており、成果が期待されています。

淀川水系ではありませんが、お隣の大和川水系の石川においても、昨年から富田林高校の小川力也先生らによって、最下流の松井井堰に仮設魚道をつける試みがなされており、成果が上がりつつあります。しかし、これも増水時の水流によって何度も流され、より恒久的な魚道の設置が望まれています。

私は魚のことについては全くの素人で、どのような魚道がよいのかよくわかりませんが、魚にやさしい水流制御について、水理学的な観点から少しでも貢献できればと考えています。

淀川では、このほか、八幡の三川合流点におけるサービスセンター建設計画や、寝屋川市点野における高水敷の一部切り下げなど、新しい動きが見られます。

恒例の近畿水環境交流会は、今年は7月23日(土)24日(日)に瀬田川で行います。

また、9月3日(土)4日(日)には、第16回川に学ぶ体験活動全国大会 in 琵琶湖・淀川流域圏が摂南大学をメイン会場として開催されます。淀川愛好会はこれらのイベントの実行委員会の主な構成団体のひとつとして、大きな役割を担います。皆様の変わらぬご支援と積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。

(淀川愛好会会長・摂南大学名誉教授)

イベント案内

天若湖アートプロジェクト 2016「あかりがつなぐ記憶」

日時 2016 年 7 月 2 日(土)・3 日(日) 日没-深夜

場所 南丹市日吉町日吉ダム・天若湖周辺 (詳細は4頁)

近畿水環境交流会 in 瀬田川

日時 2016 年 7 月 23 日(土)・24 日(日) (詳細は3頁)

第16回川に学ぶ体験活動全国大会 in 琵琶湖・淀川流域圏

日時 2016 年 9 月 3 日(土)・4 日(日) (詳細は3頁)

イベント報告

淀川愛好会 春のイベント「淀川点野水辺のつどい」

4月29日(金・祝)に淀川点野砂州周辺にて、ねや川水辺クラブ・河川レンジャー・摂南大学・淀川愛好会の主催で開催されました。全体の参加者は100人を超え、一般の参加者数も例年の倍でした。午前の部では点野ワンドを見学し、その後、点野砂州にて参加者全員でクリーン活動を行いました。日々の点野拠点整備活動のお蔭で、ゴミはほとんどありませんでした。

昼食は、点野砂州でキャベツ焼きと災害時に食べられるアルファ化米を参加者に配り、自然の中での食事を楽しみました。その時にアルファ化米の作り方を、枚方土木事務所の方が、子ども達とともに実演してくださいました。午後の部では、エコシビル部のEボードを使った親水活動が始まり、多くの人で賑わいました。点野砂州のイベントは自然の楽しさを伝えてくれました。そのような魅力がある場所だから多くの人が集まることができるのだと思います。(S.Y・Y.T)



E ボート乗船

寝屋川流域懇談会

5月15日(日)午前中に、寝屋川市の点野流域センターで行われました。大阪府都市整備部河川室より、寝屋川流域における総合治水対策・水質改善・浮遊ゴミの3つについての説明がありました。治水対策では、洪水が起これば、地下河川に雨水を流して溜めるように工夫してあります。他にBODから見た水質改善や浮遊ゴミに関する話がありました。引き続いて活動団体から発表がありました。今回、寝屋川の現状を知ることができ、私たち学生にとってよい学びの場になりました。今後もこのようなイベントに参加したいと強く思いました。(K.O・Y.K)



学生による発表

点野の水辺づくりワークショップ

5月25日(水)に第1回点野水辺づくりワークショップが点野流域センターにて行われました。今回のワークショップでは点野地区の実態を説明され、水辺利用が盛んな点野地区で本格的な親水空間づくりに必要な「切り下げ事業」の実践をさせるために「点野水辺プロジェクト」という名で始動する方針を述べられました。また、これまでに行われたワークショップで挙げたアイデアをもとに、設計コンサルタントの方々によって点野地区の高水敷切り下げ後の図面が製作され、今回はその図面を参考に意見を出し合いました。次回は今回の修正案をもとに新たな議論を広げ、点野地区がよりよい親水の間となつて欲しいです。(Y.K)

クリーンリバー寝屋川作戦・春



京阪萱島駅付近

5月29日(日)に、400名を超える参加者による寝屋川のクリーンリバー作戦が行われました。ゴミの多くはガラス瓶や空き缶でしたが、パイプや金庫などもありました。さらにセイヨウカラシナも駆除しました。なお、コイやヌマチチブなどの魚も見られました。

午前中だけの活動でしたが、沢山のゴミを集めることができました。それだけ片付けも大変でしたが、その苦労を忘れさせる快い達成感を覚えました。(M.Y)

ホタル観賞会

6月4日(土)、交野市の関西創価学園にてホタル観賞会に参加しました。最初に、中学校・高等学校の生徒さん達による、ホタルの生態や雌雄の見分け方などについて、スライドを用いた大変分かりやすい説明がありました。小雨の中でのホタル観察でしたが、多くのホタルを初めて見た人もそうでない人も、草木に止まるホタルたちの小さくも力強く光る姿に大きな感動を覚えたようでした。(T.M)



ホタルへの取り組みの説明

今後のイベント詳細

“活かそう水辺、つなごう流れ” 「近畿水環境交流会 in 瀬田川」

日時 2016年7月23日(土)・24日(日)

場所 1日目 瀬田川右岸河川敷およびウォーターステーション琵琶 2日目 アクア琵琶北側瀬田川左岸河川敷

内容 1日目 9:30-10:00 受付(瀬田唐橋中ノ島、鳥居川水位観測所前)
10:00-12:00 瀬田川ぐるり散歩道ウォーキング
(瀬田唐橋→大津放水路→石山寺港→南郷ほたる橋→瀬田川洗堰→アクア琵琶)
12:00-13:30 昼食および「水辺の匠」参加(昼食は各自持参、希望者には弁当予約販売あり)
13:30-14:00 受付(ウォーターステーション琵琶2階交流スペース)
14:00-17:00 シンポジウム
14:00- 開会挨拶 実行委員長・水辺に学ぶネットワーク会長 澤井健二 祝辞 大津市長(依頼中)
14:15- 特別講演 滋賀県立大学教授 井手慎司「瀬田川の歴史と琵琶湖の環境」
15:00- 活動紹介
17:30-18:30 懇親会(ウォーターステーション琵琶2階交流スペース)
2日目 8:30-9:00 受付(アクア琵琶北側瀬田川左岸河川敷、駐車は南郷水産センター駐車場)
9:00-9:30 河岸清掃
9:30-10:00 開会式
10:00-12:00 種々の水面利用の実践(生物観察、水質測定、距離測定、流速測定ほか)
12:00-13:00 昼食休憩(昼食は各自持参、希望者には弁当予約販売あり)
13:00-15:00 Eボートレース
15:00-15:30 閉会式、後片付け

(荒天の場合は、午前中に水辺の匠参加、午後とも天候が回復しない場合は、昼食後解散)

参加費 無料(但し、懇親会は1500円) 参加申込み 2016年6月15日～7月15日 淀川愛好会事務局まで

主催 「近畿水環境交流会 in 瀬田川」実行委員会

後援 国土交通省近畿地方整備局、環境省近畿地方環境事務所、(独法)水資源機構関西・吉野川支社、NPO法人川に学ぶ体験活動協議会、(公財)河川財団近畿事務所、(一社)近畿建設協会、(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構、近畿子どもの水辺ネットワーク、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、三重県、奈良県、和歌山県、大津市

第16回 川に学ぶ体験活動全国大会 in 琵琶湖・淀川流域圏

日時 9月3日(土)・4日(日)

内容 1日目 10:00-12:00 プレエクスカーション(無料マイクロバスで移動
寝屋川せせらぎ公園→幸町公園→川勝水辺ひろば→一点野砂洲→摂南大学)
13:00-18:00 シンポジウム(摂南大学) テーマ「暮らしと川の共生 今、私達に何ができるだろう」
基調講演 「淀川生態環境の目指すもの」大阪工業大学特任教授 綾史郎氏
活動報告 分科会(1. 防災 2. 環境 3. 親水 4. 文化 5. 連携) 全体会
18:00-19:30 懇親会(4000円)
2日目 9:00-16:30 エクスカーション 滋賀コース 大津港発→沖島→琵琶湖博物館→大津港
京都コース 八幡市駅→三川合流点→宇治→伏見→鴨川→京都駅
大阪コース A城北公園前→城北ワンダー→淀川河川敷をバスで移動→淀川大堰
B桜ノ宮駅→大阪ふれあいの水辺でカヌー体験後、徒歩で淀川大堰
午後はA・Bコースとも船で毛馬閘門→大川→堂島川→土佐堀川→東横堀川
→道頓堀川→港町リバープレイス

申し込み 氏名、団体名、住所、連絡先(電話・メール)、参加希望区分(プレエクスカーション、分科会番号、懇親会、エクスカーションコース(琵琶湖・京都・大阪A・B))を明記して8月7日までに下記へ

Fax 03-6684-4095 WEB www.rac.gr.jp メール rac_zenkoku@rac.gr.jp

問合せ先 第16回川に学ぶ体験活動全国大会 in 琵琶湖・淀川流域圏実行委員長 澤井健二 kenjisawai@mta.biglobe.ne.jp

天若湖アートプロジェクト2016 あかりがつなぐ記憶

日時 2016年7月2日(土)・3日(日) 日没から深夜

場所 南丹市日吉町日吉ダム・天若湖周辺

特別バス運行 7月2日(土)、3日(日) 無料

【送迎バス】 18:45 JR日吉駅前発「スプリングスひよし」行

※スプリングスひよしに到着後、1F 実行委員会本部にお立ち寄りください

21:10 スプリングスひよし前発「JR園部駅前」行

【周遊バス】 19:30 スプリングスひよし本部前集合 「あかりがつなぐ記憶観覧」(ガイド付き)

内容 今年は原点に帰り、「あかりがつなぐ記憶」のみの開催となります。

参加費 無料 参加申し込み 不要

〈会員の窓 36〉

この3カ月で感じたこと

荻野 恭輔

今年石田ゼミに配属され、充実した日々を過ごすことができています。石田ゼミに所属して3カ月しか経っていませんが、多くのイベントや親水活動に参加させていただいており、月日が過ぎるのがとても早く感じます。私は大学生活でこのような活動に携わることは恥ずかしながら初めてなので、毎回の経験がとても新鮮です。主に地域の方や行政の方、活動を行っている団体の方と密接に関わることが多いのが印象的です。こういったネットワークを形成することができているためイベントを開催できるのだと思います。『人脈は財産』とはこのことだと強く感じ、これから関わっていく人達と上手く連携していきたいと思います。

私はNPO 法人近畿水の塾の事務局を担当させていただいており、会議では実際に活躍なさっている行政の方々の生の声を聞くことや講演会に行くことが多くなりました。講演会で知り合った方は堺市の石津川でアユの遡上調査をなさっており、GWにアユの遡上調査に同行させていただきました。活動している方々は熱い思いを持っていると深く感じました。それとともに活動している方はご年配の方が非常に多いと感じました。実際に若手の力が足りないということが現状であり、これからの活動を通して地域の人々や学生、子どもたちに河川や環境の大切さを広めていきたいと思っています。

石田ゼミに所属して3カ月で感じたことは自分の意識が変わってきていることです。物事に対して深く考えるようになったことや、物事に対して関心を持ちやすくなったと感じています。自然に触れ合うことで人は成長出来るのだと思います。都市化が進む中でこれからの時代は『構造物』、『自然』、『生物』の3点が共存していくことができる日本を作らなければならないと強く思います。

(摂南大学 理工学部 都市環境工学科 4年生)

編集後記

新年度になって記者陣は、新しい記者たちを迎え、陣容が大幅に変わりました。彼らの手作りによる第74号をお届けします。精鋭の学生記者たちは、北村美紗樹さん(大学院博士前期課程1年次)、岡本健佑君、荻野恭輔君、小林好樹君、竹内佑汰君、三戸隆史君、山田萌奈さんおよび横野翔大君(以上、石田研卒研生)、そしてエコシビル部の皆さんです。

本報の充実のために一生懸命頑張ってくれていますので、彼らにこの一年間、あたたかいご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

編集長 相本太刀夫(元摂南大学薬学部教授)

淀川愛好会事務局：〒572-8508寝屋川市池田中町17-8 摂南大学理工学部都市環境工学科 石田研究室内

TEL/FAX：072-839-9125

HP：<http://www.setsunan.ac.jp/civ/yodoric>

E-mail：ishida@civ.setsunan.ac.jp
